

株式会社JR中央線コミュニティデザイン サステナビリティレポート2021



ここにしかないらしをつくる

株式
会社

JR中央線コミュニティデザイン

わたしたちのビジョン

中央線に沿った東京の西。

この地には、豊かな自然と由緒ある歴史があり、自由に生きる人々の生活が根付いています。

地域によって個性は異なりますが、根底には中央線を愛してくださる人々の想いを感じとることができます。

これからも、いままで以上に愛され続ける沿線の魅力を構築するために、わたしたちにできること。

それはこの人々の声に耳を傾け、求められている価値を見い出し、提供することです。

この価値を人々と共に磨き、輝かせることで、沿線のコミュニティはより豊かに色づきます。

時代とともにコミュニティのあるべき姿も変わり続けます。

だからこそ、わたしたちは人々の思いに寄り添い、変化の先を読む想像力を持ち、

中央線沿線における“これから”のコミュニティの魅力の最大化を目指し続けます。



ここにしかない暮らしをつくる

株式
会社

JR中央線コミュニティデザイン

1. Introduction～はじめに

Introduction

Social

Environment

Governance

1. Introduction～はじめに

2. Social～社会

3. Environment～環境

4. Governance～ガバナンス

JR 中央線コミュニティデザインは、地域の魅力や可能性を広げるさまざまな事業活動を実施し、住み続けられる街づくりをはじめとする「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）※」の実現に貢献していきます。

沿線地域に根差したパートナーとして、あらゆるステークホルダーのみなさまと一緒に持続的な発展・成長を目指していきます。

※SDGs とは、2015 年 9 月の国連サミットで採択され「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された、2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



【編集方針】

本報告書は、株式会社 J R 中央線コミュニティデザインの事業活動について報告することを目的としています。「より多くの方々によりわかりやすく」をコンセプトに、図表や写真を多用し、可能な限り用語の補足説明なども行っています。実施している施策の内容については、測定結果や達成率などの客観的データも含めて紹介しています。

【報告対象期間】

データは 2020 年度の実績ですが、活動内容には、2019 年度以前のもの、または 2021 年度以降のものを含んでいます。

1. Introduction～はじめに

◆会社概要◆

会社名 株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン
主な事業 SC 事業／駅業務受託事業／高架下開発・活用事業／地域活性化事業／教育事業／ワークスペース事業
所在地 【本社】
〒184-0004 東京都小金井市本町 1-18-10
小金井本町ビル 5F
【八王子オフィス】
〒192-0083 東京都八王子市旭町 1-1
設立 2021 年 4 月 1 日
資本金 12 億 3,000 万円
代表者 代表取締役社長 高橋 好一

◆事業エリア◆

【セレオ八王子】



【セレオ国分寺】



【nonowa 東小金井】



【nonowa 武蔵境】



【セレオ甲府】



【nonowa 国立】



【プログラボ国立校】



【ののみちサカイ西】

◆事業紹介◆



01.SC 事業

沿線の主要駅において、「CELEO」「Dila 拝島」「nonowa」の3つの商業施設を展開。地元の商店・クリエイターとも協業し、地域ごとに特色のある施設づくりを目指しています。

02.駅業務受託

中央線・南武線の一部の駅において切符の販売や精算業務、ホーム上の安全確保、お客さまへのご案内等の駅業務を行っています。



03.高架下開発・活用事業

高架下スペースを利用し、店舗や保育園などが立ち並ぶ歩行空間を創出。また、シェアキッチンやシェアオフィス、学生寮などの空間活用も展開しています。



04.地域活性化事業

シェアリングスペースの設置やイベントを通じて地域コミュニティをつなぎ、地域ビジネスが生まれるきっかけをつくるとともに、ビジネス展開に使える多様な「場」を提供します。



05.教育事業

子ども向けプログラミング教室「プログラボ」を運営するほか、沿線地域の学校や大学と連携し、体験型教育の場の提供なども推進していきます。



06.ワークスペース事業

駅という立地や移動時間を賢く活用し、新しい生き方や働き方を実現したい方々に向け、ビジネスにもプライベートでも使えるワークスペース「STATION SWITCH セレオ八王子」を運営しています。



1. Introduction～はじめに

◆コミュニティデザインの考え方◆



多様なニーズや興味をマッチングして、新たなマーケットの創造へ。

私たちが描く「コミュニティづくり」とは、
さまざまな「好き」や「欲しい」を持つ地域のみなさまをつなぎ合わせ、
ビジネスにつながる多様なマーケットを生み出すことです。
街や人の個性を大切にしながら、
この場所にしかない生き活きとした暮らしを創り上げていきます。

規模や分野にしばられない事業展開を。

スモールビジネスの活性化が、地域の大きな力になる

趣味人や文化への関心が高い人々が集まると言われる中央線エリアには、他にはない魅力的なコミュニティを形成するポテンシャルが溢れています。その力を活かすためには、画一化された大きなコミュニティを創るのではなく、多様な個性を持つ小さなコミュニティをたくさん生み出すことが必要です。さまざまなスモールビジネスを共に育み、新たなマーケットを生み出していくために、より多くの人々が参画しやすい「場」や「機会」を提供していきたいと考えています。



◆トップメッセージ◆

昨年設立 10 周年を迎えた当社は、2021 年 4 月 1 日に「(株)JR 中央ラインモール」と同じ中央線沿線で駅ビル事業を展開する「JR 東京西駅ビル開発(株)」と合併し、新社名「(株)JR 中央線コミュニティデザイン」として新たなスタートを切りました。今後は新社名に込められた思いを実現すべく、これまで以上に沿線の皆さまとの接点を大きく、かつ強くして、地域が抱える課題の解決に向けて当社の役割を果たしていきたいと社員一同、心を新たにしております。またこのサステナビリティレポートで紹介させていただく内容もより一層充実させていきたいと思ひます。

今や企業の役割発揮において欠かせなくなった SDGs ですが、社会の持続的発展というテーマは、その名の通り、駅事業を起点としながら様々な事業展開によって地域に根差し沿線価値向上を目指す私たちにとっては、単なる企業課題にとどまらず、存在意義そのものに直結する命題とも言えます。それゆえに、当社は設立当初より「地域社会とのかかわり」を何より大切にしていまいりました。駅や駅ビルの運営、高架下開発や新規事業の推進、様々なイベントや情報発信など、それぞれの地域の魅力を育て、人が集い、楽しみ、街の活性化に資するよう、当社ならではのフィールドを存分に活かした独自の視点による取り組みに努めております。

地域の持つ課題は幅広く様々です。お客さま、地域の皆さま、自治体さま、ショップスタッフの皆さま、取引先さま、社員等の様々なステークホルダーが持つ社会的ニーズに敏感に対応し、豊かな地域づくりに向けて新しい価値を力強く創造してまいります。



代表取締役社長 高橋 好一



PICKUP Project①

【コミュニティデザイン社員の働き方】

当社では、多様な特性を持つ社員がそれぞれに合った働き方をすることがSDGsの達成へと繋がると考え、フレックス制度やテレワーク制度の充実、ビジネスカジュアルなどを実施しています。

◆フレックス制度・テレワーク制度◆

本社社員や一部の nonowa・セレオ所属社員にはフレックス制度を適用し、時間に縛られない働き方を推進しています。また、テレワーク制度を導入し、在宅を含む勤務箇所以外での勤務を推奨しています。時間に縛られない・仕事の場所を選ばないことで、業務内容・量に従って自分の働く時間を効率的に配分する、適した環境で働くことができ、業務の効率化やワークライフバランスの実現に繋がっています。また、テレワークに特化した施設と法人契約を結び、約 200 箇所から働く場所を選べるようにしました。



◆ビジネスカジュアル◆

当社では、私服勤務時や通勤時のビジネスカジュアルを実施しています。冷暖房機器使用量を削減することによる地球環境への配慮やコストダウンはもちろんのこと、服装における性差の解消や働きやすい職場環境の構築を目指しています。

PICKUP Project②

【STATION SWITCH セレオ八王子】

「STATION SWITCH セレオ八王子」は、セレオ八王子北館9階に2021年4月よりオープンしたワークスペースです。

多様な人が行き交う街の玄関「JR 八王子駅」を起点に、“日々の生活”に寄り添った「働き方・学び方」を提案したいという思いのもと、従来の「買い物をするための駅ビル」に「仕事・勉強をする場所」という新しい使い方をプラスしました。

本施設はオープンエリア、会員専用エリア、会議室エリアの3エリアからなり、全76席を備えています。会議室エリア内には個別ブースを設け、WEB会議やオンライン授業の需要にも対応しています。



また、地元との取り組みとして、八王子市や八王子観光コンベンション協会などと連携し、各種セミナーや観光・地元名店紹介なども計画しています。時に働き、時に学び、時に街にふれあいながら、地域の暮らしをもっと便利にもっと豊かに彩るとともに、中央線沿線価値向上を目指します。



この度、当社としては初の事業であるワークスペース事業の1号店がセレオ八王子北館9階にオープンしました。

社内はもちろん、社外、グループ会社それぞれ同時並行での各種調整は非常に大変でしたが、皆様のご協力のおかげで、無事オープンできました。まだまだ手探りな状態ではありますが、沿線価値の向上を目指し、これからもお客様の生活に貢献できるよう常に考え続けたいと思います。

新領域創造本部 地域活性化部 田中 郁海

1. Social～社会

◆地域産業の応援◆



中央線ビールフェスティバル

2018年9月にスタートした「中央線ビールフェスティバル」は、中央線沿線のクラフトビールを軸にしたイベントで、地域に根差したローカルプレイヤー（中央線沿線ブルワリー）を発掘・連携しています。2019年9月には4日間で2.8万人が来場し大盛況。2021年はコロナ禍を受けオンラインで開催しました。

中央線パンまつり

2020年2月に国立でスタートした「中央線パンまつり」では、中央線沿線の40店舗ものパン事業者や雑貨店などが出店し、大好評をいただきました。また、2021年3月にはJR東小金井駅近くの高架下と梶野公園で開催し、2日間で1.2万個を販売しました。



家族の文化祭

2015年11月にスタートし、通常春と秋の2回開催している「家族の文化祭」では、JR東小金井駅近くの高架下「コミュニティステーション」を使用し、小金井市をはじめとした多摩エリアの生産事業者が商品を販売しています。



◆地域産業の応援◆

ものづくりのわ

「ものづくりのわ」は、地域で暮らす障がいのあるクリエイターを支援しようと2020年9月に国立駅でスタートし、ものづくりに興味のある地域住民とクリエイター、そして駅社員が交流する新たなコミュニケーションの場となっています。今後はJR稲城長沼駅の「くらすクラス」も第2の拠点としながら広がっていきます。



nonowa テイクアウトマップ

仕事中はテイクアウトでの食事がメインの駅社員ですが、コロナ禍によるテイクアウト需要増加に伴い、地域のお店を知る機会が増えました。nonowa テイクアウトマップは、この機会を活かし、地域のグルメをお客さまにお勧めする企画です。ひいき目無しのリアルなコメントと共に、掲載依頼を通じた地域のお店と駅社員の交流にも繋がりました。



地産品のPR販売ブースの展開

セレオ八王子では、地元八王子の良さを広く知っていただくため、催事やPR販売ブースを積極的に展開しています。年に1回、八王子・多摩物産展を開催して地元の店舗に出店していただくほか、2020年10月からは1階食品フロア入口にて定期的に道の駅滝山による農産物販売を展開。また、2021年2月には八王子織物組合による桑の葉を使ったマルベリーネクタイ展を開催しました。



2. Social～社会

◆地域産業の応援◆



こくベジ

セレオ国分寺では、国分寺市の地場野菜である「こくベジ」の普及活動を進めています。セレオ国分寺ぶんじマーケットにおいて、JA

東京むさしと協力して開催する「こくベジ直売会」や、レストラン店舗やカフェ店舗で「こくベジメニュー」の提供を実施しています。「こくベジ」の発信を増やすことで、地域農業の活性化と地域の発展に寄与するため、今後も活動の幅を増やしていきます。



カフェ＆ワインバー 葡萄酒一番館

2021年4月にJR甲府駅にオープンした「カフェ＆ワインバー 葡萄酒一番館」は、「ワイン県山梨」のシンボリックなアンテナショップとして、山梨独自のワインの楽しみ方である湯呑茶碗ワイン※などを発信しています。改札前の観光スポットとして、地域活性化の推進、そしてワイン県山梨のPRの一翼を担っていきます。

※山梨県では農家を中心にワイン醸造を行っていることから、湯呑茶碗で「葡萄酒」を楽しむという、ワインの飾らない楽しみ方が根付いています。



◆地域の交流づくり◆



中央線みちあそび

周辺地域で使わなくなった物を集め、子供たちと一緒に遊ぶエコイベントです。2020年9月にJR武蔵境駅の nonowa terrace で開催し、突然登場した芝生と地面を自由にチョークで落書きをして良いという環境に、子どもも大人も大興奮でした。2日間で約2,000名にご来場いただきました。

リアル電車ごっこ

2021年2月に開催した「リアル電車ごっこ」は、参加者が電車になりきり、時刻表通りに高架下を歩くイベントです。ソーシャルディスタンスを確保することを逆手に取り、駅とSCを持つ当社ならではのイベントになりました。



ぽっぽやエール

ホップ栽培からオリジナルのクラフトビールづくりまでをJR武蔵境駅の駅社員が中心に行おうという大胆な試みである「ぽっぽやエール」。JR武蔵境駅の nonowa terrace にて、2021年3月には地域の皆さまにもご参加いただいて苗植えを行い、ポップの栽培がスタートしました。



おしごと体験講座

2021年2月にセレオ国分寺で開催した「おしごと体験講座」では、「自分で考え伝えてみよう！」というコンセプトのもと、子どもたちに古本を通じた販売や、ライターとして自分が感じたものを伝える体験をしていただきました。



2. Social～社会

◆地域の交流づくり◆



ヴァンフォーレ甲府アウェーチームフラッグの掲出

セレオ甲府では、地元のJ2チーム「ヴァンフォーレ甲府」をスポンサーとして応援するべく、懸垂幕「がんばれヴァンフォーレ甲府」を掲出しています。また、アウェーチームフラッグも同時に掲出し、来県に対して「ようこそ」の気持ちを込めています。

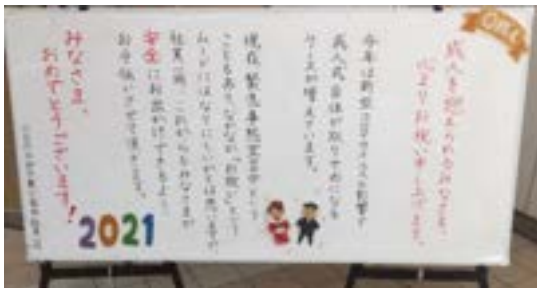
近隣の小学校との連携

JR 武蔵境駅では近隣の小学校の職場見学を受け入れています。また、駅社員が近隣小学校へ行き、電車や駅を利用する際の注意事項やマナーを教える安全教室を開くなど、教育面での連携を深めています。



駅での学生へのメッセージ

大学などが数多くあり、学生の利用も多い中央線。受験シーズンや卒業シーズンには、LED 出発表示機や駅構内でホワイトボードの手書きメッセージなどを通じて、学生の皆さまを応援しています。



窓ふきサンタ

セレオ甲府では、毎月実施している館の屋外窓拭き清掃を、12月はサンタの衣装で実施しています。クリスマスシーズンを盛り上げる地域の恒例行事になり、特にコロナ禍の中では「明るい気持ちになる」など、多数ご好評いただきました。



◆新規分野への挑戦◆



もののわ

国立駅では、2020年12月より駅の改札窓口において、きっぷ以外の商品を販売する新しい取り組みである「もののわ」をスタートしました。改札内に設置されたショーケースに、「少量しかつukれないもの」や「商品にストーリーがあるもの」など、ここでしか手に入らない逸品を展示し、ご購入を希望するお客さまには改札でお声がけいただき、社員が販売しています。

物を販売するだけでなく、物の背景にあるストーリーまでお伝えすることで、駅の改札から地域の皆さまを繋いでいきます。

プログラボ

2018年よりスタートした直営の子ども向けロボットプログラミング教室「プログラボ」は、これからの時代に求められるプログラミング思考・技術を地域のお子さまに提供しています。また、プログラミング教育を通じて「自ら課題を見つけ、解決する」といった未来を生きる子どもたちに必要な力を育みます。2020年度時点で600名を超える生徒さまにご利用いただき、2021年4月に吉祥寺校・調布校を開校、10月には大泉学園校、11月にセレオ国分寺校を開校予定です。



さらに、2020年4月より、学校法人宝仙学園（東京都中野区）の運営する小学校内で、放課後の習い事としてロボットプログラミング教室を開校し、約40名の児童が参加しています。ICTを活用した授業を積極的に展開する同校とともに、未来を担う子どもたちの「夢を実現するチカラ」を育みます。

セルフケア薬局

2021年2月、JR西国分寺駅中央線下りホーム上にセルフケア薬局 nonowa 西国分寺店がオープンしました。薬剤師が健康状態やお悩みを詳しくヒアリングした上で、処方箋がなくても販売が認められた約7,500種類の薬を販売しています。忙しくて病院を受診する時間が取れない方や、感染リスクの観点から病院に行けない方、気軽に健康相談を行いたい方などに便利なサービスです。



2. Social～社会

Introduction

Social

Environment

Governance

◆安全・安心の提供◆



列車待避訓練

JR 東日本より駅業務を受託し、駅運営を行う当社において、安全安定輸送の確保は最も重要な使命の1つです。お客さまに安心して快適に駅や列車をご利用いただけるよう、様々な訓練に取り組んでいます。2021年11月にはJR 国立駅構内で列車待避訓練として、線路内に入り、列車が接近した際の正しい手順や合図について訓練しました。

新入社員訓練

2021年5月にはJR 八王子支社駅運行業務訓練施設において、新入社員に対し、安全拾得器（マジックハンド）・列車非常停止警報器・ホーム上での基本動作等について訓練を行いました。様々なケースを想定した訓練を繰り返し行うことで、レベルアップ・スキルアップに努めています。



nonowa・セレオでの消防訓練

駅と商業施設を一体運営する nonowa では、お客さまに安全・安心にご利用いただくため、年2回、駅社員と各商業施設スタッフによる合同消防訓練を実施しています。消防署の方に指導役としてお越し頂き、全参加者が消防署の皆さまからのご指導・アドバイスに真摯に耳を傾けました。実際の火災を想定し、真剣に訓練に参加することで、安全意識の醸成に繋がっています。



駅ビルであるセレオも同様に、年2回、社員・ショップスタッフ合同で自営消防訓練を実施しています。避難誘導や初期消火など、各回で課題を設定することで訓練の精度を上げています。また、安心な店舗・安全な商品だからこそお客さまはお越しいただけるという信念のもと、安全総点検・衛生点検なども定期的実施。安全・安心な館造りに努めています。



PICKUP Project③

【nonowa 駅制服リニューアル】

nonowa 駅社員の制服をリニューアルするこのプロジェクトは、2019 年 5 月から始動し、2021 年 3 月より新制服の着用を開始しています。

経年によるリニューアルでしたが、実際に制服を着用している社員の意見を反映させるべく、アンケートを実施。旧制服に関する満足度や改善点、新制服に求める機能性・デザイン性を調査したところ、



nonowa カラーの使用や、会社のイメージアップにつながるようなデザインにしたい、伸縮性があり収納のしやすい機能的な制服がいい、などの声が挙がりました。

社員の意見を踏まえ、中央線沿線地域の魅力や当社らしさを表すため、武蔵野美術大学の学生 9 名に若々しいフレッシュな感性でデザイン案を作成していただきました。



いわゆる駅員らしいイメージとは異なったデザインで、当初は着ている自分を想像できませんでしたが、今となってはその個性的な”らしからぬところ”が気に入っております。何より、特定の路線のラインカラーが制服に入っているという点は非常に珍しいことと思いますし、中央線を支えている一員として誇らしい気持ちです。お客さまから制服をお褒めいただくこともあり、駅や会社の顔としての役割も十分に果たせているのではないかと思います。

個人的には、新制服の資料用に、一足先に着用した様子を撮影していただいたのですが、2 月の真冬日に半袖姿で駅前に立った際の、肌を刺すような寒さが思い出深いです。

nonowa 武蔵境 袴田 優太

3. Environment～環境

ペーパーレス・フリーアドレスのさらなる推進

当社ではペーパーレス会議・オンライン会議を推進しています。これにより 2020 年の紙資源の使用量は前年度比 26% の削減を達成しました。また、2017 年 9 月に改装した小金井オフィスに加え、2021 年 3 月には八王子オフィスを改装し、フリーアドレス化・一人あたりの省スペース化を実施しました。



食品リサイクルの推進

当社では、食品廃棄物削減のため食品リサイクルに取り組んでいます。nonowa 武蔵境、nonowa 東小金井、nonowa 武蔵小金井の生ごみについては食品廃棄物の飼料化処理を行っているほか、セレオ八王子、セレオ西八王子、セレオ国分寺では 2020 年 4 月より(株)バイオフィードリサイクルと契約を行い、食品廃棄物のメタン発酵処理によるバイオガス発電を開始しました。その結果、2020 年度の食品リサイクル率は 90% を達成しています。



バイオマス素材使用レジ袋の導入

当社では、プラスチックごみ削減に向けて、2020 年 10 月よりセレオ八王子・セレオ西八王子・セレオ甲府「セレオ市場」及び nonowa 国立の「nonowa MARCHE」・nonowa 東小金井の「ヒガコマルシェ」のレジ袋をバイオマス素材配合のものに変更しました。

TOKYO2020 ゼロカーボンへの参画

当社は「東京 2020 大会 のカーボンオフセット」に協力し、東京都キャップ&トレード制度における CO2 超過削減量のうち、5,364t※を東京都に寄付しました。

※一般家庭年間排出量の約 1,970 軒分に相当 (2019 年度環境省 HP より算出)



資源使用量

当社では、事業活動に伴い使用・排出される環境負荷を把握し、その低減に努めています。

資源使用	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー（原油換算）	kl	6,055	5,965	5,799	5,569	5,060
水資源：水使用量	m ³	474,182	483,703	495,550	489,394	488,898
：排水量	m ³	382,036	381,555	378,778	379,300	276,610
紙資源	kg	10,164	9,384	9,472	9,338	6,919

廃棄物	単位	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
一般廃棄物	t	4,483	4,435	4,494	4,386	3,524
：リサイクル処理	t	2,254	2,232	2,225	2,234	2,583
：リサイクル率	%	50	50	50	51	73
産業廃棄物	t	1,089	1,155	1,037	1,079	836
：リサイクル処理	t	913	930	870	979	756
：リサイクル率	%	83	81	84	91	90

Suicle（スイクル）



中央線沿線には、緑豊かな公園を始め各種文化施設など魅力的なスポットが点在しています。訪れた方が地域の魅力を感じながら街を巡ることができるよう、JR 東日本がシェアサイクル「Suicle」のポートを整備しました（ポート設置場所：武蔵境・東小金井・武蔵小金井・国立の各駅）。自転車は CO₂ 排出がないエコな乗り物であることから、当社ではその利用促進を行うことで、地域や環境に優しい街づくりを進めていきます。

ののみち



ののみちでは、武蔵野の自然の美しさや四季を感じられる空間となるよう、緑化計画を進めています。また、植栽は高架下にあることから、耐陰性の樹種を基調に選定をしています。緑化した面積は約 2,100 m²に及び、約 100 種類の植栽が広がっています。また、2018 年 4 月には JR 武蔵小金井駅西部に「ムサコガーデン」を新たに開業しました。

3. Environment～環境

Introduction

Social

Environment

Governance

多摩産材の利用

多摩産材は多摩地域で生育・生産された木材のことです。森林を健全な状態に維持するには、間伐などの適切な手入れが必要です。多摩で森林を育て、育った木を使って木材として利用することは、得た収益を次の多摩の森林を育てる費用にあてるという循環にも繋がります。

◆ムサコガーデン◆

2018年4月に開業したムサコガーデンの大屋根は多摩産材を使用しています。金属ではなく多摩産材を採用することで、東京都の森林保全活動に貢献しています。



◆セレオフォレストダイニング◆



2018年10月に行われたセレオ八王子9・10階（レストランフロア）の改装では、多摩産材を利用した売場環境の仕上げを行いました。主にお客さまの休憩用のイス（一部）や、プランターボックス、その他仕上げに使用しています。また、植栽については、プラントハンターであり「そら植物園」代表を務める西畠清順氏がプロデュースを行い、緑豊かな八王子を意識し多彩な植物を使った演出で、食事をするだけでなく、屋内で「緑」を楽しみながらゆっくりと過ごしていただける環境を作りました。

地域の清掃活動

セレオ八王子では、月1回セレオ周辺のごみ拾い等を定期的に行なっています。八王子に綺麗な街であってほしいという思いから、街並み作りに微力ながら協力しています。

また、ののちについても、沿線にお住まいの方々に気持ちよく利用していただくため、定期的に一斉清掃※を実施しています。

※2020年度は2020年11月に国立～立川駅間高架下で実施



PICKUP Project④

【駅社員旧制服のリユース・リメイク】

nonowa 駅社員の制服をリニューアル（PICKUP Project③）に伴い、旧制服の在庫が大量に発生しました。廃棄は環境への負荷が高く、また当社社員の歴史・想いも詰まっているものであることから、まだ活用が可能な旧制服についてはリユース・リメイクを実施しました。

◆リユース◆

2021 年 7 月、一般社団法人わかちあいプロジェクトが実施している「古着支援プロジェクト」（発展途上国の人々へ衣類を送るプロジェクト）を通じ、南スーダンの方々へ旧制服約 1,600 枚を寄付しました。南スーダンでは内戦の影響で多くの難民が厳しい生活を強いられています。旧制服が少しでも暮らしを支えるお手伝いとなればと考え、倉庫に予備として保管していた約 1,000 枚に加え、約 600 枚については社員が自ら着用の可否を選別しました。8 月に横浜港から南スーダンに向けて出発し、11 月頃に現地の方々の手に届く予定です。



◆リメイク◆

着用には堪えない旧制服約 140 枚については、障がい者支援施設の皆さまが、生地を使用し日常で使える雑貨等へのリメイクを行います。JR 国立駅の商品販売である「もののわ」や、地域イベントである「ものづくりのわ」などを通じ、2021 年 10 月以降に地域の皆さまへ販売する予定です。

「古着支援プロジェクト」への旧制服寄付にあたり、関係各所との調整や旧制服の選別にも携わりました。特に社員による選別会では、参加した社員も実際に送る旧制服に触れることで、「今自分が手にしている・自分が着用していた制服が南スーダンの方々のもとに届くんだ!」「少しでも喜んでもらえるようにしたい!」と気持ちを一丸にして取り組むことができました。

経営戦略室 齋藤 七瀬



4. Governance～ガバナンス

コーポレートガバナンスについて

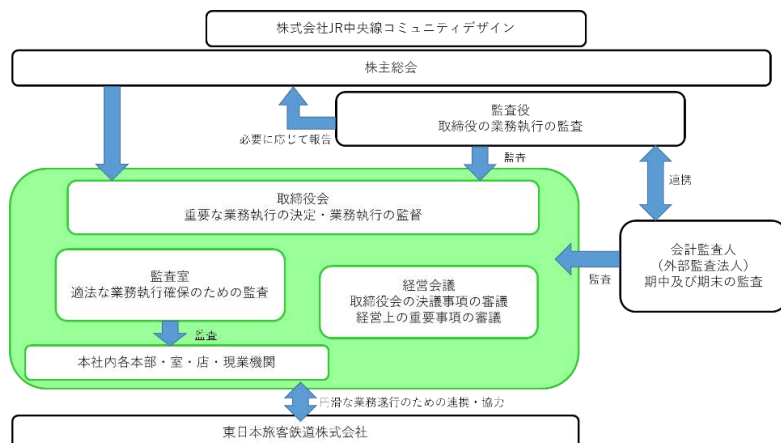
当社は、お客さまおよび地域の皆さまをはじめとするあらゆるステークホルダーに満足いただけるよう、事業の持続的な成長と企業価値の向上を目指します。安全・安心の追求、商業施設（駅間施設を含む）の運営力強化、新規開発や新規事業の展開をはじめとする経営課題に対して、公正かつ透明な意思決定を迅速に行い、経営環境の変化に対応していきます。

原則として月1回取締役会を開催し、重要な業務執行の決定・監督を行っています。また、原則として月2回経営会議を開催し、取締役会の決議事項やその他経営上の重要事項について審議を行っています。

さらに、各本部・セレオ・nonowaを対象として、監査室が適法かつ効率的な業務執行確保のための監査を定期的実施しています。その監査結果について経営トップと情報共有することで、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています。

監査役は、取締役会への出席などを通じ、取締役の業務執行の監査を行っています。会計監査については、有限責任あずさ監査法人（会計監査人）が期中及び期末に監査を行っています。

また、円滑な業務遂行に向けて、東日本旅客鉄道株式会社と連携・協力をしていきます。



コンプライアンスについて

当社は「法令遵守・企業倫理」を経営の根幹ととらえ、内部統制システムを整備するとともに、関係する法令を遵守し、企業倫理に従って事業運営を行っています。

JR 東日本グループ理念に加えて、JR 東日本グループの企業行動指針である「法令遵守及び企業倫理に関する指針」に沿った望ましい行動の在り方が記載された「コンプライアンス・アクションプランハンドブック」を全役員、全社員に配付し、これを教材として、毎年コンプライアンス研修を実施しています。



当社 HP では、当社内に設置した社内のコンプライアンス相談窓口及び社外のコンプライアンス相談窓口である JR 東日本の担当部署を掲載し、法令遵守・企業倫理に違反したまたは違反するおそれのある行為に係る情報の受付方法を提示。取引会社の従業員からの相談等、幅広い対象者から情報を受け付けています。「リスクの未然の防止」と「リスク低減」の取り組みを推進するため、安全総点検をはじめとした防火防災に対する実践的な訓練を毎月実施するとともに、セレオ・nonowa にて必要に応じた各種研修を行うことで、異常時対応力の向上を目指しています。また、事件・事故といった不測の事態の発生など「顕在化したリスク」に対しては適切かつ迅速な対応を心がけています。

さらに、研修や日々の気付きや振り返りを通して、安全や人権、リスクマネジメントなどに関する意識の醸成を図るなど、コンプライアンス活動の強化、さらなる深度化に向けた取り組みを継続していきます。

情報セキュリティ・個人情報の保護について

「個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）」をはじめとした関係法令に基づき「個人情報管理規程」を策定し、個人情報管理責任者を設置しています。業務上必要な社員だけが利用できるよう、アクセス権限管理を徹底しています。個人情報の収集や取り扱い、管理等に関する方針をプライバシーポリシー（個人情報保護方針）として定め、個人情報保護に対する意識向上を図るべく教育を実施しています。また、「JR東日本グループ情報セキュリティ基本方針」に基づき情報セキュリティ管理体制を構築し、情報システム利用のルールブックを通じて全社員を対象に教育を実施しています。

PICKUP Project⑤

【コミュニティデザインのニューノーマル対策】

新型コロナウイルス感染拡大や政府からの要請を受け、当社では様々な感染防止対策を実施しています。

駅においては、お客さまが触れる可能性のある場所をリストアップし、駅社員が毎日チェックリストに従って消毒を行っています。

セレオ・nonowa では入口にアルコールディスペンサーを設置し、来店されるお客さまに対して検温及び手指の消毒をお願いするほか、マスクの着用やお会計列でのソーシャルディスタンスなどにご協力をいただいています。



セレオ甲府では、県の職員などの第三者が感染防止対策を行っている施設を実地調査の上で認証する「山梨グリーンゾーン認証」を館として取得。感染防止対策を徹底し、安心してお客さまにご来店いただけるよう取り組んでいます。

また、本社オフィスやSCの事務所、現業機関の内勤室においても毎日の消毒を実施することはもちろんのこと、社員に対しても積極的なテレワークの利用を推奨し、出勤率の低下に努めています。





ここにしかないらしをつくる

株式
会社

JR中央線コミュニティデザイン

株式会社 JR 中央線コミュニティデザイン
経営戦略室
サステナビリティレポート 2021

2021 年 10 月発行
〒184-0004
東京都小金井市本町 1-18-10
小金井本町ビル 5F

<https://www.jrccd.co.jp/company/>